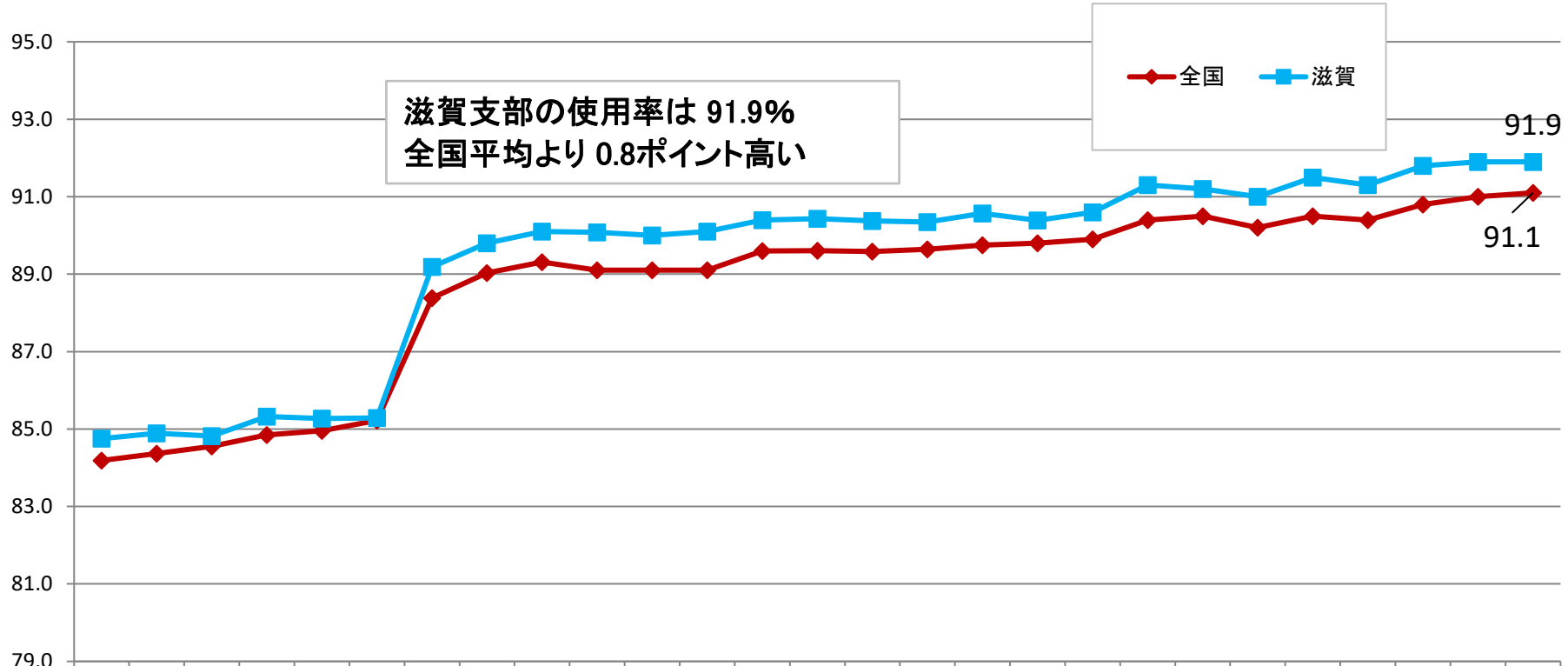
ジェネリック医薬品使用状況（数量ベース）（%）

医科・DPC・調剤・歯科

令和8年6月現在



	令和6年4月	令和6年5月	令和6年6月	令和6年7月	令和6年8月	令和6年9月	令和6年10月	令和6年11月	令和6年12月	令和7年1月	令和7年2月	令和7年3月	令和7年4月	令和7年5月	令和7年6月	令和7年7月	令和7年8月	令和7年9月	令和7年10月	令和7年11月	令和7年12月	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月
全国	84.2	84.4	84.6	84.8	85.0	85.2	88.4	89.0	89.3	89.1	89.1	89.1	89.6	89.6	89.6	89.6	89.7	89.8	89.9	90.4	90.5	90.2	90.5	90.4	90.8	91.0	91.1
滋賀	84.8	84.9	84.8	85.3	85.3	85.3	89.2	89.8	90.1	90.1	90.0	90.1	90.4	90.4	90.4	90.3	90.6	90.4	90.6	91.3	91.2	91.0	91.5	91.3	91.8	91.9	91.9

注1. 協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）
なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2.「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。

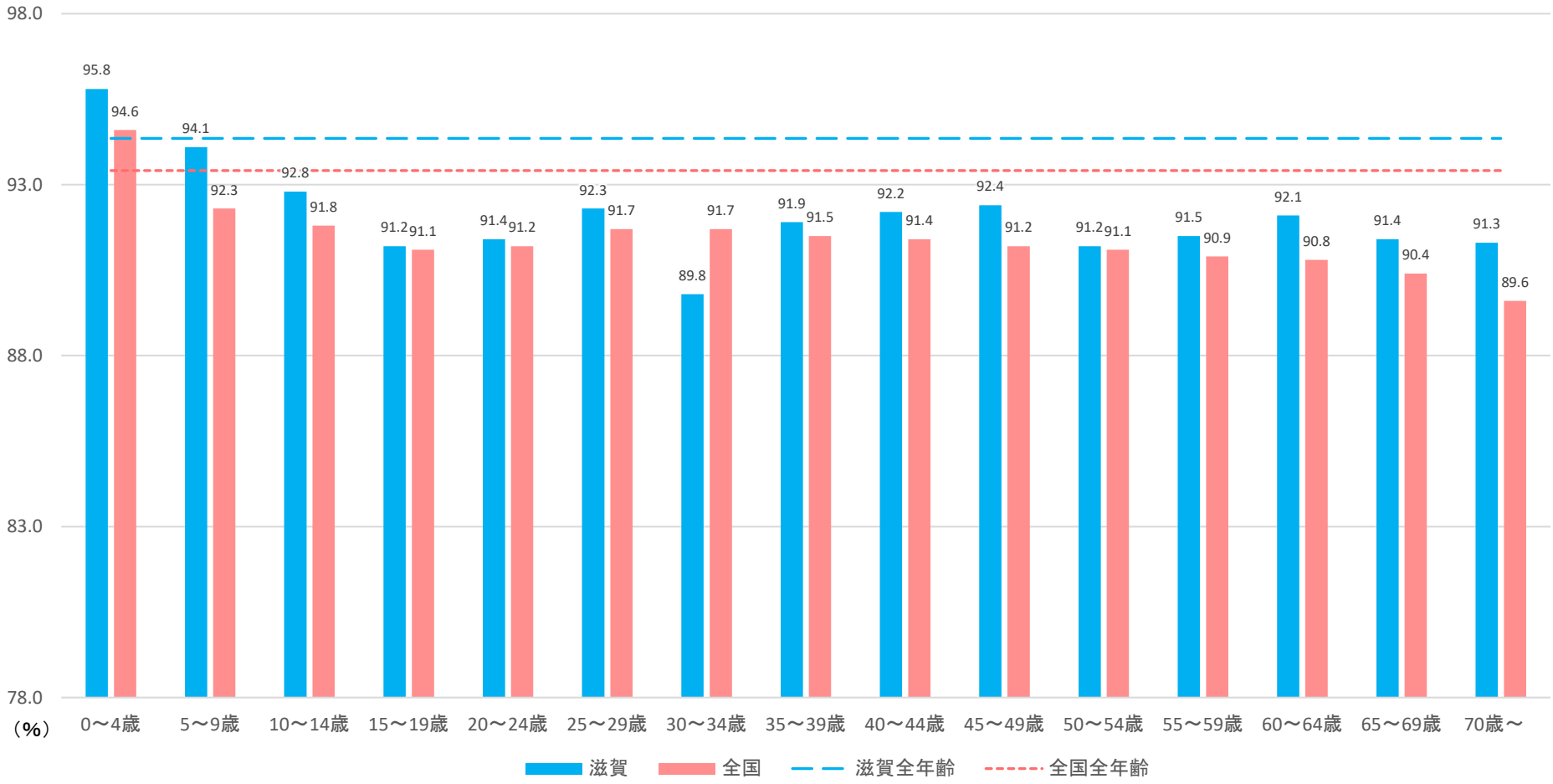
注3.〔後発医薬品の数量〕／（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕＋〔後発医薬品の数量〕）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

注4. 後発医薬品の収載月には、後発医薬品が初めて収載される先発医薬品があると、算出式の分母の対象となる先発医薬品が増えることにより、後発医薬品割合が低くなることがある。

年齢階級別　ジェネリック医薬品使用状況（数量ベース）（%）

医科・DPC・調剤・歯科

令和8年6月現在



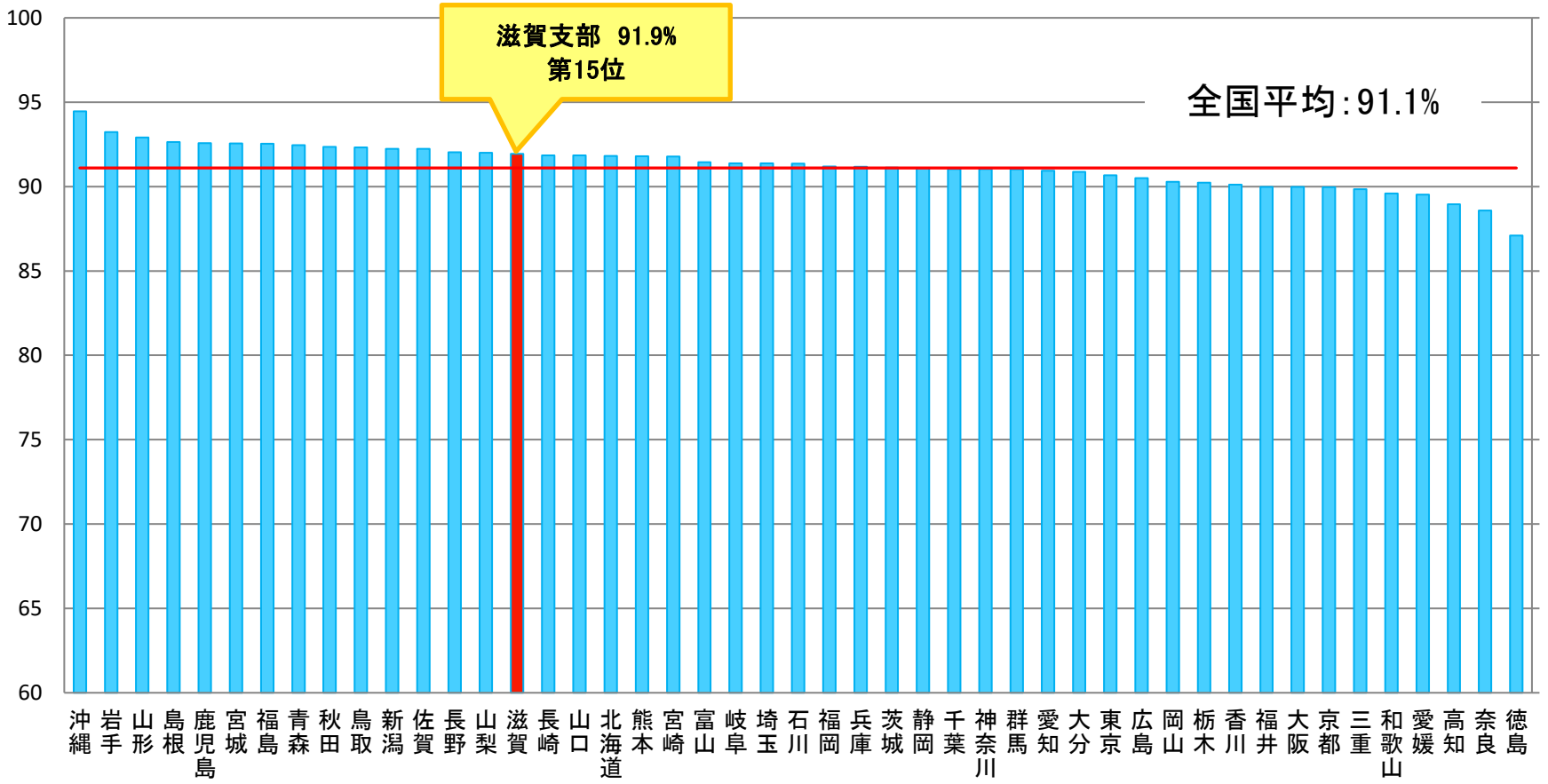
注1. 協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）
　　なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。
注2.「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。
注3.加入者の適用されている事業所所在地別に集計したもの。
注4.〔後発医薬品の数量〕／（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕＋〔後発医薬品の数量〕）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。

協会けんぽ都道府県支部別　ジェネリック医薬品使用状況（%）

医科・DPC・調剤・歯科

令和8年6月現在

滋賀支部のジェネリック医薬品使用割合は前月と比べ横ばいです。



注1. 協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）
　　なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2.「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えたものをいう。

注3.加入者の適用されている事業所所在地別に集計したもの。

注4.〔後発医薬品の数量〕／（〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕＋〔後発医薬品の数量〕）で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。